



なみ き

埼玉県議会議員

無所属
県民会議
SAITAMA

並木まさとし



発行者
連絡先

埼玉県議会議員 並木正年
〒365-0038 鴻巣市本町 3-2-19-B
TEL 541-7777 / FAX 543-8000

日頃の活動は
ホームページで!

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp



「空き家」の現状を考える

昭和 23 年から 5 年ごとに住宅と土地の保有状況や世帯の居住実態を調査する「住宅・土地統計調査」が実施されています。

平成 30 年の調査では、県内の住宅約 338 万戸のうち、空き家は約 34.6 万戸（空き家率 10.2%）で、全国平均の 13.0%と比較すると、全国一空き家率が低い県となっています。

平成 25 年の調査と比較すると、土地や住宅価格・豊かな環境等を理由とした都内からの転入が続いたことで、空き家戸数は 9 千戸、空き家率は 0.7%減少しています。

しかし、利用目的のない「その他の空き家」は約 1.2 万戸、空き家率は 0.3%増加しており、自治体別の「空き家数」は人口と住宅が多い「さいたま市」や「川口市」で多く、「率」では寄居町や秩父市で増加しています。

「その他の空き家」は火災や犯罪など周辺への影響が大きく、地域の活力低下も懸念されるため、「売りたい人・貸したい人」と「買いたい人・借りたい人」をつなぐ「空き家バンク」の登録促進や住宅の維持管理に向けた相続相談への支援体制を拡充することが重要です。

県では相続に詳しい専門家（行政書士や司法書士）を自治会の集会や高齢者サロンに無料で派遣する対話形式の講座を用意していますので、詳しくは私の事務所までお問い合わせください。

空き家とは…①賃貸用住宅（アパートの部屋等）・②売却用住宅・③二次的住宅（別荘など）・④その他の住宅（①～③以外の理由）で人が住んでいない住宅に分けられます

県内空き家の内訳

①賃貸用住宅（57.6%）・②売却用住宅（4.4%）・③二次的住宅（2.1%）・④その他の住宅（35.8%）

都道府県別 その他の住宅・空き家「数」・その他の住宅・空き家「率」

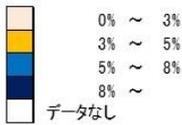
全国順位	1	2	3	4	5	埼玉県
空き家 数	大阪府 20.9 万戸	東京都 18.0 万戸	北海道 15.7 万戸	兵庫県 15.1 万戸	神奈川県 14.7 万戸	9 位/47 12.4 万戸
空き家 率	高知県 12.8%	鹿児島県 12.0%	和歌山県 11.2%	島根県 10.6%	徳島県 10.3%	45 位/47 3.7%

県内市町村別 その他の住宅・空き家「数」・その他の住宅・空き家「率」

県内順位	1	2	3	4	5	鴻巣市
空き家 数	さいたま市 1.8 万戸	川口市 9.0 千戸	熊谷市 5.1 千戸	川越市 4.0 千戸	所沢市 3.9 千戸	16 位/53 2.7 千戸
空き家 率	寄居町 11.7%	秩父市 10.9%	嵐山町 7.7%	本庄市 7.5%	小川町 7.0%	15 位/53 5.2%

県内のその他の住宅数は令和 15 年に約 34.6 万戸から約 84 万戸、率では 10.2%から 21.5%に増加すると予測されています

■ その他空き家率



その他の住宅・空き家率

他市の状況

* 63 市町村中 53 自治体が調査対象



県内順位	率
24 北本市	4.3%
37 桶川市	3.2%
41 上尾市	2.9%
8 行田市	6.5%
23 加須市	4.3%
13 熊谷市	5.7%
39 さいたま市	3.0%
53 戸田市	0.9%
15 鴻巣市	5.2%

* 住宅・土地統計調査は H27 年国勢調査時の人口 1.5 万人以上が対象のため小鹿野町やときがわ町など 10 自治体はデータなし

カーナビデータを活用した交通安全対策 ～危険箇所の解消に向けて～

埼玉県の道路交通状況は交通量が全国 4 位と多く、朝夕の混雑時の平均速度は全国ワースト 4 位、混雑度は最下位です。また、交通事故の発生状況は令和 3 年に 13.6 万件で死者数は 118 人と 6 番目に多い県です。

R3 年度末時点で県の管理道路総延長約 2,800 kmのうち、歩道の整備延長は約 2,040 km(73.5%)で、今年度も 99 箇所です歩道の整備が進められる予定です。

交通事故の防止には、日頃から PTA や地域の防犯パトロール団体の方々に大変ご尽力をいただいておりますが、通学路など危険が潜んでいる箇所を事前に把握・特定することで、より交通安全対策の強化につながると思います。

県では県内に工場を構える本田技研工業「ホンダ」と平成 19 年に「道路交通データの提供に関する協定」を締結し、カーナビを活用した**事故発生箇所・急ブレーキ多発箇所(0.3G 以上)・みんなの書き込み情報**から安全対策を進めています。

このデータを活用して、路面舗装やポストコーンの設置、視界不良による植込みの剪定をおこなった 160 箇所の事業効果として 1 カ月間の急ブレーキ総数は 7 割減少、人身事故も 2 割減少しています。ビッグデータを活用・共有し、自宅周辺や通学路などをチェックしてみたいはかがでしょうか。

現在、狭山工場ではプレス・溶接・合成樹脂の一部の部品を生産しており、2022 年より完成車の生産を完成車工場（寄居町）・エンジン工場（小川町）へ集約しています。

みんなで作る安全マップ

Hondaは、すべての人が心から安心してどこへも自由に移動できる社会「Safety for Everyone」を目指して、事故に遭わない社会づくりに向けた取り組みを進めています。

そして、このSAFETY MAPは、あらかじめ危険な場所を知ることが、歩行者も、ドライバーも、ライダーも、より安心して生活できる世の中にしていきたいと願って始まったプロジェクトです。

Hondaのインターネットナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と交通事故情報、そして、みなさんの声で地図がつけられます。



プロフィール
 1970 年鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(24 年目)/鴻巣市議会議員 2 期/埼玉県議会議員 2 期目/福祉保健医療委員会/人材育成・文化・スポーツ振興特別委員/家族:妻・長女・長男・愛犬レオ